生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	炎症性腸疾患に合併する IgA 腎症の臨床病理学的研究		
1. 研究の目的と方法	炎症性腸疾患に IgA 腎症を合併する事が報告されています。炎症性腸疾患合併 IgA 腎症患者の実態調査を行い、炎症性腸疾患と IgA 腎症との関連について調べ、潰瘍性大腸炎、クローン病それぞれと IgA 腎症の関係について比較します。それにより、IgA 腎症がクローン病もしくは潰瘍性大腸炎どちらにより近い病気であるかわかることによって、IgA 腎症の原因に近づくことを目指します。そして、炎症性腸疾患患者さんにおける尿検査などの腎臓病検査の大切さを広く示し、IgA 腎症をはやく診断できる体制の充実を目指します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	慈恵医大附属病院、慈恵医大葛飾医療センター、慈恵医大第三病院、慈恵医大柏病院、川口市立医療センターに 1995 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の期間に通院中の腎生検で診断された炎症性腸疾患合併 IgA 腎症患者さん 18 歳以上の方を対象とします。対照症例として、上記症例の診断時期、年齢性別の近い炎症性腸疾患非合併 IgA 腎症患者さんも研究対象となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	腎生検組織、腸粘膜生検組織	
	(2)試料の取得の方法	通常検査時に採取された組織の一部を用います。	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、病理組織検査）	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院　腎臓・高血圧内科
		氏名	清水昭博
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	川口市立医療センター　腎臓・高血圧内科　部長　横手伸也（機関の長：病院事業管理者　國本聡）	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送、もしくはパスワードを掛けた電子ファイルをメール送付します。 試料・情報の利用または提供予定開始日：2024 年 8 月頃～
【問い合わせ先】	東京慈恵会医科大学　内科学講座　腎臓・高血圧内科 研究責任者、柏病院：清水 昭博（しみずあきひろ）　電話：04-7164-1111（内線：3221） 附属病院窓口担当者：上田　裕之　（うえだひろゆき）電話：03-3433-1111（内線：3221） 附属第三病院窓口担当者：藤本　俊成（ふじもととしなり）　　電話：03-3480-1151（内線：3710） 葛飾医療センター窓口担当者：福永　昇平(ふくながしょうへい)　電話：03-3603-2111（内線：5910）

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。